

マーケットの動き（2022年4月11日～4月14日）

先週の米国株式市場は、前週末比で下落しました。

約40年ぶりの高水準となった3月の米国CPI（消費者物価指数）や、FRB（米国連邦準備制度理事会）高官による利上げ加速に前向きな発言を受けて、成長株を中心に下落する展開となりました。

欧州市場は、ECB（欧州中央銀行）による早期利上げ観測が後退したことから、前週末比の下落幅は米国より小幅に留まりました。

投資環境見通し（2022年4月）

外国株式相場は、先行き不透明感から上値を追う動きは限定的

米国：人件費や原材料価格などコスト上昇の影響から企業業績の拡大ペースが鈍化するとみられています。このことは株価に対して、すでに相当程度織り込まれているとみられますが、今後の利上げペースの加速やFRB（米国連邦準備制度理事会）のバランスシート縮小に対する警戒感、ウクライナ情勢を巡る先行き不透明感などもあり、株式相場の上値を追う動きは限定的とみており、レンジ内での動きになるとみえています。

欧州：米国株式相場の動向やウクライナ情勢に対する先行き不透明感から、方向感に欠ける展開が予想されます。

	4月14日	騰落率			
		前週比	1カ月前比	6カ月前比	1年前比
S&P500種株価指数	4,392.59	▲2.13%	3.05%	▲1.76%	5.33%
NYダウ	34,451.23	▲0.78%	2.70%	▲2.39%	1.22%

※期間別騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応答日（休日の場合は前営業日）までとします。

※最新の「投資環境見通し」もご覧ください。

https://www.myam.co.jp/market/outlook/upload_pdf/202204_outlook.pdf

米国株価指数の推移



主要国株価指数の推移



●当資料は、明治安田アセットマネジメント株式会社がお客様の投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、投資勧誘を目的とするものではありません。また、法令にもとづく開示書類（目論見書等）ではありません。当資料は当社の個々のファンドの運用に影響を与えるものではありません。●当資料は、信頼できると判断した情報等にもとづき作成していますが、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。●当資料の内容は作成日における当社の見解に基づいており、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また予告なしに変更することもあります。●投資に関する最終的な決定は、お客様自身の判断でなさるようお願いいたします。●当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらに関する著作権等の一切の権利は、それらを作成・公表している各主体に帰属します。●使用インデックスについては、マーケット見通し（総合）の最終ページをご確認ください。<https://www.myam.co.jp/market/report>